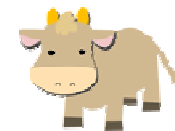


# 岡崎市の肉用牛



岡崎市では、ブランド化推進品目に牛肉が指定されており、市内各所では肉用牛の飼育が行われています。肉用牛にも様々な種類があり、また経営方法も異なります。そのような中で生産者は産地ブランドの向上のため、日々切磋琢磨しています。

## 飼育頭数

岡崎市内では、**340頭以上**の肉用牛が飼育されています（生産者のみ、牛の種類は和牛、交雑種、乳用牛）。  
（平成27年2月1日現在）

## 経営方法

**繁殖農家**・・・母牛と子牛を飼育し、子牛をスモール市場、素牛市場等に出荷しています。市場は新城市内等にありま

**肥育農家**・・・子牛をスモール市場等から購入し、大きくさせて、枝肉市場等に出荷しています。

## 個体識別番号

全国全ての牛にそれぞれ10ケタの識別番号が割振られ、番号の記載された識別耳標が装着されています。それにより、各牛の生産、異動情報が管理されています。

スーパーなどで販売されている精肉のパックにも記載されており、インターネットで検索すると、様々な情報を知ることができます。

## 肉用牛の種類

**和牛**・・・黒毛和種、褐色和種、日本短角種、無角和種の4種とそれらの交雑種から構成されており、90%以上が黒毛和種。肉質が優れているなどの理由で高価。

**交雑種**・・・別名でF1（一代交雑種）と呼ばれます。ホルスタイン種等の乳用牛の雌牛と和牛の雄牛等の交配により生まれます。肉質は和牛に近く、体格はホルスタイン種等に似て大きくなりますが、肉にサシが入りにくく和牛よりお値打ち。

**乳用牛**・・・ホルスタイン種等。和牛と比べると赤みが多く、肉質が硬いイメージです。

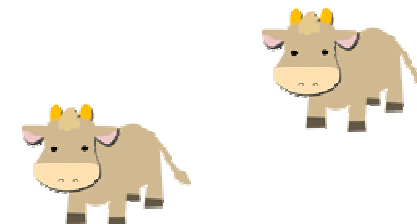
## 市内生産者の取組み

平成25年に開催された愛知県の繁殖和牛の品評会では名誉賞をはじめ様々な賞を受賞しています。

また、市内の肥育・繁殖肉牛生産者は研修会等を開催し、生産技術向上を図っているほか、毎年11月に乙川河川敷で開催される岡崎市農林業祭や、2月に市内産直施設で開催される畜産フェア等で岡崎市のブランド化推進品目として、牛肉の普及促進に努めています。



名誉賞を受賞した繁殖和牛



資料作成協力：岡崎市肉牛生産組合